

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 5 1 0 1 6 k 1

「発明を正しく理解するための読み順」、「発明の難易度、技術分野に対する習熟度など経験値別の読み方」、「読み取った特許（技術）情報の研究開発活動への活かし方」、「他社特許への対応」など、実務スキルを学べます。

技術者のための特許の効率的な読み方と効果的な活用

講師：湘南国際特許事務所 所長 弁理士、（元）富士ゼロックス株式会社 牧山 皓一氏

【略 歴】富士ゼロックス（株）に入社後、記録媒体の研究・開発業務に約 20 年従事。その後、知的財産部にて、研究開発部門の特許出願の権利化活動・他社特許侵害回避のマネジメント、知的財産部の方針及び計画の立案とその展開、特許事務管理・予算管理のマネジメント、知財戦略の立案、技術者・知財担当者の特許教育、職務発明規程の作成、ライセンス交渉等の業務に従事。
2007 年 8 月退社後、10 月より現職。技術者知財教育、職務発明制度の導入・運用、発明創出活動、知財戦略、ノウハウ保護、大学との共同研究等についての企業に対する知財コンサルティングに従事。

●日程 2025 年 10 月 16 日（木） 13：30 ～ 16：30

●受講料 24,200 円（税込） ※8/16（土）までにお申込の場合、**19,360 円（2 割引）**となります

【習得できる知識】

- 特許公報を「読まなければいけない理由」が理解できます。
- 特許公報の「正しい読み方」、「効率的な読み方」が習得できます。
- 特許公報記載の技術情報を「研究開発業務へ効果的に活用」するための考え方が学べます。
- 他社特許への具体的な対応、「他社特許の弱点の見つけ方」が学べます。

【プログラム】

1. 特許公報とは

- (1) 特許公報にはどのような種類があるのか
- (2) 特許公報には何が書いてあるか
- (3) 特許公報はなぜ読まなければいけないのか

2. 研究開発活動と特許公報の活用との関係

- (1) 研究開発プロセスの各段階で効果的に活用できる特許公報の情報
- (2) 研究開発開始前
 - ① 研究開発テーマの探索に利用する
 - ② 競合企業の動向を調べる
- (3) 研究開発実施中
 - ① 問題解決のヒントを探す
 - ② 自社創出発明の登録可能性を検討する
 - ③ 利用発明と基本発明との関係を調べる
- (4) 他社特許への対応
 - ① 特許発明の技術的範囲の解釈の基本
 - ② 文言解釈と均等解釈との違い
 - ③ 特殊なクレームの解釈の概要
 - ④ 他社特許の弱点の見つけ方
- (5) 自社特許の権利行使への活用
 - ① 自社特許を侵害する可能性のある他社製品・技術を見つける（直近のライセンスの対象）
 - ② 自社特許を利用する可能性のある企業を調べる（将来のライセンスの対象）

3. 特許公報の効率的な読み方

- (1) 特許公報を読む順番は？
- (2) 効率的な **3 ステップ読み**とは？
～発明の難易度・技術分野に対する習熟度・特許公報を読んでいる回数等を考慮した読み方～
- (3) 目的別の読み方は？
 - ① 研究開発テーマを探索する場合
 - ② 問題解決へのヒント（アイデア）を探す場合
 - ③ 他社の問題特許がある場合の対応は？

4. 今後の課題

【講演概要】

企業で研究開発に従事する技術者は、様々な場面で特許公報と関わります。競合企業の特許調査・分析、業界の技術動向調査、自らの発明創出活動等、特許情報を参考にすることは極めて重要です。企業の技術者として、特許公報の効果的な活用と効率的な読み方を学ぶことは不可欠といえるでしょう。

この講習会では、特許公報の種類とその役割を理解したうえで「特許公報をどの順番で読むと正しく理解できるのか？」「発明の難易度、特許公報を読んだ回数等を考慮した効率的な読み方はあるのか？」「特許公報から得られる技術情報を研究開発活動にどのように活かしていくのか？」など、技術者として知っておくべきポイントを習得することを目的としています。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/10/16 技術者のための特許の効率的な読み方と効果的な活用		
会社名※			
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>	
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		